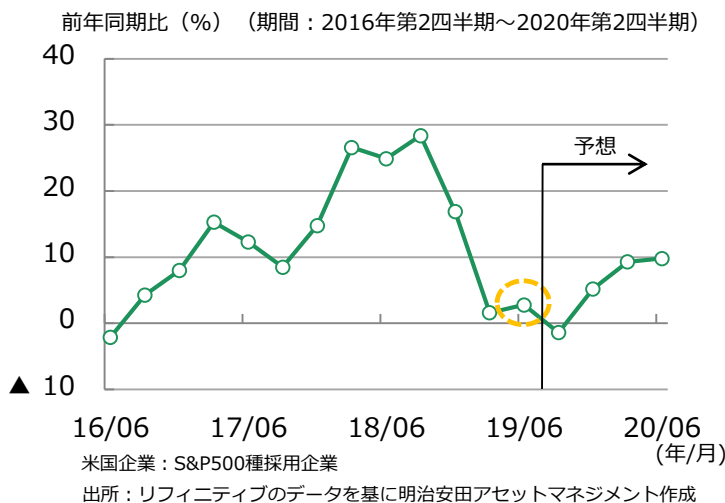


S & P 500種採用企業の2019年4-6月期の決算は、小幅な増益となっています。

前年対比で小幅増益

- S & P 500種採用企業の約9割が2019年4-6月期の決算発表を終え、EPS（一株利益）は前年同期比+2.8%と小幅な増益となっています（8月9日時点）。増益率の実績がアナリスト予想を上回った企業の比率は約73%となり、過去の長期平均（65%）を上回っています。
- 4-6月期の企業業績については、米中通商問題からの悪影響は軽微であったものの、多くの企業は、今後の米中通商協議の行方や業績への影響を懸念しています。

図1 米国企業のEPS推移と予想



業種別では、「コミュニケーション」が好調

- 業種別では、フェイスブック（FB）やアルファベット（GOOG）の好決算に牽引された「コミュニケーション」セクターが高い増益率となりました（前年同期比+17.1%）。また、「ヘルスケア」、「金融」セクターがともに前年同期比約+10%と高めの増益率となり、前四半期に続いて好調でした。
- 一方で、5月以降の資源価格の下落が響き、前四半期に続いて「素材」、「エネルギー」セクターが前年同期比で減益となりました。両セクターの今後の業績見通しは冴えず、7-9月期についても減益が予想されています。

※上記の個別銘柄への言及はあくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではありません。

業種別の増益率

○上位3業種

<2019年4-6月期 実績>

業種名	増益率
コミュニケーション	+17.1%
ヘルスケア	+10.1%
金融	+10.0%

●下位3業種

業種名	増益率
素材	▲13.1%
資本財	▲9.0%
エネルギー	▲8.9%

<2019年7-9月期 予想>

業種名	増益率
金融	+4.3%
不動産	+3.6%
ヘルスケア	+2.4%

業種名	増益率
エネルギー	▲21.8%
素材	▲9.3%
情報技術	▲7.3%

※ S & P 500種採用企業の業種別の前年同期比EPS変化率

出所: リフィニティブ（8月9日集計時点）のデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

金融緩和や景気対策が追い風となり、来年前半にかけて業績は回復へ

- 米政府が、対中関税第4弾（約3千億ドル相当の中国製品に対して10%の制裁関税）を9月に発動すると発表*したことも影響し、7-9月期は小幅な減益が予想されています。一方で、来年前半にかけては、順調な業績回復が予想されています（図1参照）。
- 年内にFRB（連邦準備制度理事会）により追加で利下げが実施される可能性があること、来年の米大統領選挙に向け、トランプ政権から追加景気対策が行われるとの期待があることなどは、株式市場にはプラス材料になると考えます。

※8月13日には、米政府が主要製品の制裁関税発動を12月に先送りすることを発表。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。

●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。

《米国主要企業の2019年4-6月期業績》

企業名(ティッカー)	業種	予想EPS(ドル)	実績EPS(ドル)	予想との比較※
マイクロソフト(MSFT)	情報技術	1.21	1.37	○
フェイスブック(FB)	コミュニケーション	1.88	1.99	○
アマゾン・ドット・コム(AMZN)	一般消費財	5.57	5.22	×
アルファベット(GOOG)	コミュニケーション	11.30	14.21	○
エクソンモービル(XOM)	エネルギー	0.66	0.73	○
アップル(AAPL)	情報技術	2.10	2.18	○

※実績EPSが予想EPSを上回った場合は○、下回った場合は×

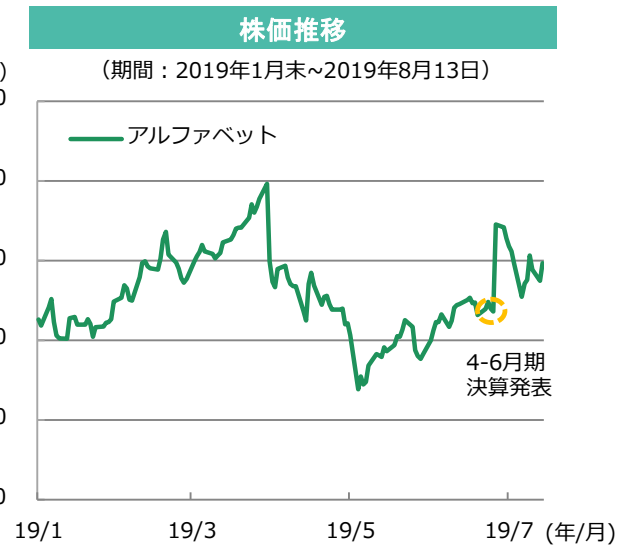
出所：リフィニティブのデータおよび各種報道を基に明治安田アセットマネジメント作成

アルファベット (ティッカー：GOOG)

- グーグルを傘下に持つアルファベットの2019年4-6月期決算は、EPS（一株利益）が14.21ドルとなり、アナリスト予想（11.30ドル）を大きく上回る良好な結果となりました。
- 1-3月期の決算が不調であったため、成長鈍化が懸念されていましたが、グーグルの広告事業は順調に拡大し、クラウド事業の伸びもアマゾンなどのライバル企業を上回ったことで好決算となりました。
- 決算内容が好感され、決算発表後は、引け後の時間外取引で株価は8%強上昇しました。

(ドル)

1,400
1,300
1,200
1,100
1,000
900



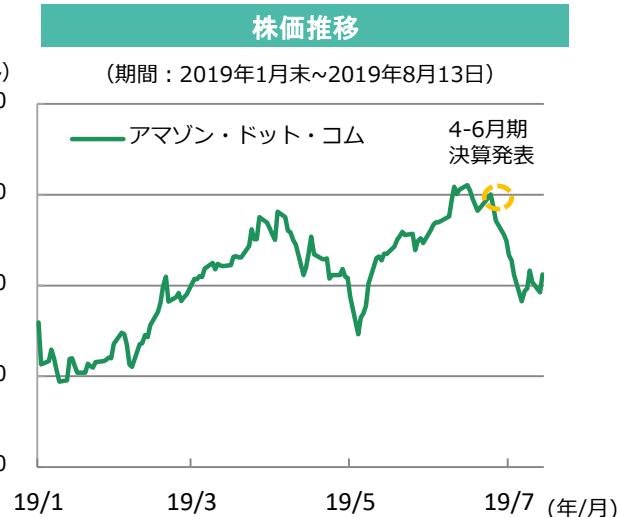
出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

アマゾン・ドット・コム (ティッカー：AMZN)

- アマゾン・ドット・コムの2019年4-6月期決算は、EPSが5.22ドルとなり、アナリスト予想（5.57ドル）を下回る内容となりました。
- 有料会員制サービス「プライム」のメンバー向けに、配送時間が短い「ワンデー・デリバリー」サービスを提供するためのコストが会社の想定よりも増加したことがマイナスの主要因です。
- 決算発表後は、利益確定の売りが見られ、株価は下落しました。

(ドル)

2,200
2,000
1,800
1,600
1,400



出所：ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

※上記の個別銘柄への言及はあくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではありません。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。